

# 『着火しづらい』と思ったら

コテライザー本体が着火しない原因として次の項目が多くみられます。

- ◆気温によるガスの吐出不良
- ◆エゼクターユニットのつまり
  - ※エゼクターユニットはコンプレッサーのエアガンやエアダスターなどで噴くと詰まりが改善する可能性があります。また、日々の詰まり防止としても効果的です。
- ◆本体内部の火口弁のつまり(安全性の為、お客様では交換できません)

## ◆気温によるガスの着火不良について

熱い時期はガスの出が多くなり、寒い時期はガスの出が少なくなり着火しづらくなります。  
ガスコントロールレバーを中央より寒い時期は右側、暑い時期は左側で着火すると着火し易くなります。



## ◆エゼクターユニットのつまり

エゼクターユニット(消耗品)がつまり始めると正常な炎が出なかったり、全く出なかったりして着火出来なくなります。

### ◇確認方法

#### ①準備

ガス確認窓よりガスが十分入っている事を確認し、ローレットキャップを回してエゼクターユニットが見える状態にします。



#### ②ガス吐出音の確認

ガス・オープンレバーを上にあげガスをONにします。着火せずにエゼクターユニットの先端を耳元に当てて先端から『シュー』というガス吐出音が聞こえるか確認します。

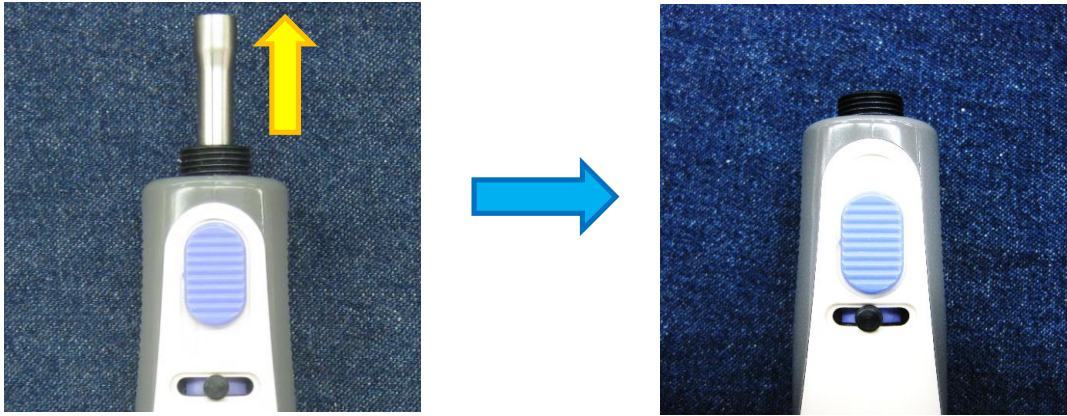


ガスの吐出音が聞こえる場合⇒③-1

ガスの吐出音が聞こえない場合⇒③-2

### ③-1 ガス吐出音が聞こえない場合

ガス吐出音が聞こえない場合、エゼクターユニットが完全につまっているかガス吐出量の低下の可能性があるので、ガスオープンレバーを下げ、ガスをOFFにしてからエゼクターユニットを上引っ張り取り外します。



エゼクターユニットを外した状態で再度、耳に近づけてガスオープンレバーを上げガスの吐出音を確認します。  
※エゼクターユニットを外した状態の場合、ガスの吐出音は一瞬で小さな音の為、聞き逃しに注意が必要です。

エゼクターユニットを外した状態でガスの吐出音が聞こえる  
且つ、エゼクターユニットを付けると吐出音が聞こえなくなる場合、  
ガス吐出量の異常、またはエゼクターユニットの詰まりが考えられる為  
ガス吐出量の調整または、エゼクターユニットの交換が必要です。

### ③-2 ガス吐出音が聞こえる場合

ガス吐出音が聞こえる場合、着火し炎の状態を確認します。  
炎が青く逆三角形にキレイに出ていれば正常です。  
炎が正常に出ない場合はエゼクターユニットの交換をお勧めします。



※エゼクターユニットはコンプレッサーのエアガンやエアダスターなどで噴くと詰まりが改善する可能性があります。また、日々の詰まり防止としても効果的です。



工場出荷時にガスコントロールレバーがMAX(一番右側)の状態  
で炎長が10mm~11mmになるように調整されています。  
炎長が小さ過ぎても大き過ぎても着火不良の原因となります。

※『ガス吐出量の調整』  
『エゼクターユニット交換方法』については別ページ